

令和元年9月24日

小鹿野町長 森 真 太 郎 様

小鹿野町政策審議会
会長 小 松 征 三

産業振興の活性化について（最終答申）

平成30年3月22日付け、小鹿総第415号で諮問のありました産業振興の活性化について、平成30年11月21日に第1次答申を行いました。その後、審議会を4回、先進地視察を1回開催し、諮問内容について審議しましたので、別添のとおり答申します。

答申書（最終）

小鹿野町政策審議会は、町長の意思決定に際して専門的な立場から特別な事項を調査・審議する合議制の機関として設置されました。

小鹿野町は若者の流出、出生数の減少による人口減少、少子高齢化が進行するとともに、高度情報化や国際化の進展等の社会情勢の変化に加え、大地震や集中豪雨等による災害対策など多くの課題が山積しています。

特に人口減少が著しく、この人口減少のスピードを抑制するため、地域経済の再生、稼げる町を創生し、定住人口、交流人口を増加させるための施策を早急に講じる必要があります。

そのため、平成30年1月26日に委員の委嘱を受け、平成30年3月22日に、町長より「産業振興の活性化について」の諮問を受けた『地域経済再生のための産業振興施策』について、まちづくり、産業、教育、観光等の分野で11回の会議を開催し、審議を重ねてまいりました。

つきましては、下記のとおり答申し、町長の政策決定の一助となることを望みます。

記

第1 短期的な視点

(1) 地域経済活性化の中核拠点を目指す株式会社「地域商社おがの」(仮称)を設立する

・一般財団法人小鹿野町振興公社を基盤とした、株式会社「地域商社おがの」(仮称)を設立し、収益が望める産業関連業務を集約し、民間のノウハウにより事業展開を図る。

また、町内外の企業や地域おこし協力隊など外部人材やノウハウを活用し、新規事業の展開を行う。

【地域商社おがの基本方針】

- 官民一体、町が一丸となり、町民で作り上げるという熱意を持つ
- 地域資源を活用した産業を自ら起こし、商品やサービスを域外に販売して儲ける「地産外商」を目指す
- モノ、コトのブランド化、積極的な掘り起こしにより町をブランディング
- 時代のニーズに合致した一流の施設整備により、町全体へ波及効果を生み出す
- 観光振興（DMO 機能）を併せ持ち、地域全体を国内外に売り込む地域プロデュース事業を実施する

一般財団法人小鹿野町振興公社

- ・埼玉県山西省友好記念館（神怡館）指定管理 H29 まで⇒休館
- ・国民宿舎両神荘 管理
- ・秩父ミュージックパーク（サイクリングセンター、スカイトレイル、長尾根直売所）管理
- ・小鹿野鹿公園 管理
- ・道の駅両神温泉薬師の湯（両神ふれあいセンター）管理
- ・道の駅地域資源活用センター 管理
- ・道の駅農林産物直売所 管理
- ・毘沙門水の製造・販売

移行

株式会社「地域商社おがの」(仮称)

- ・公募によりCEO（最高経営責任者）を募集し、新株式会社の設立
- ・町からの出資による経営の安定化
- ・現有観光施設の一体運営・独立採算黒字化転換
- ・観光、産業振興に関する事業展開
- ・国民宿舎や道の駅、神怡館等観光施設や民間事業者と連携し相乗効果
- ・地域産品、食、町にある資源を生かして町内外、国内外に情報発信

(2) 「地域商社おがの」DMO機能による観光振興への取組

- ・さまざまな地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくりのため、多様な関係者と連携し、運営主体（DMO）を形成する。
- ・従来の観光対策に加え、着地型観光やインバウンド観光の推進により交流人口、関係人口の増加を目指し、定住人口に結びつけていく。
- ・観光客のニーズにあった事業展開を図るため、AIやIoTなど最新の情報通信技術を活用したマーケティングのもと観光戦略を立案し、小鹿野町の強みや地域や観光の資源を活かした事業展開を図る。
- ・マスコミやインターネット事業者を活用し、ビジュアル化などあらゆる手段を駆使し情報発信をしていく。

特に、町全体のモノ・コト、あらゆる資源を繋げることにより、「観光のものがたり」を作り出す。

また、SNS などを利用しフォロワーを集めるなど、情報通信サービスを活用することにより、需要や趣向の変化に的確に対応し、的確なマーケティングのもと日々情報発信を積極的に行う。その為に情報発信専任担当者の配置も検討する。

インバウンド対策として、町内店舗のキャッシュレス化を推進することも重要である。

日本版DMO形成

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための調整機能を備えた法人。

基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）としては、

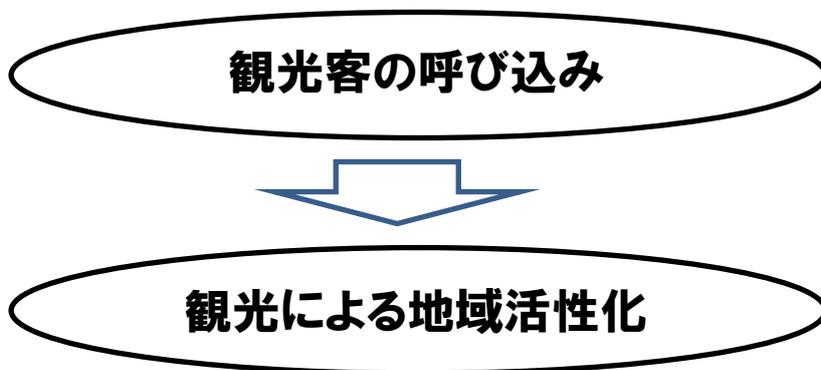
- (1) 日本版DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- (2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定、実施・評価サイクルの確立
- (3) 観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーションなど

多様な関係者との連携

| | |
|--------------|---|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光地域づくりへの理解 ・町民ガイドの育成、実施 |
| 行 政 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興計画の策定 ・プロモーション等の観光振興事業 ・インフラ整備（景観、道路等） ・文化財の保護・活用 ・観光教育 ・交通政策 ・補助金メニューの活用、リサーチ |
| 商 工 会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと名物の開発等 |

| | |
|-------|--|
| 農 林 業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験プログラムの提供 ・ 6次産業化による商品開発等 |
| 宿泊施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別施設の改善等 ・ SNS等でフォロワーを集める |
| 飲 食 店 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の食の提供等 ・ キャッシュレスの推進 ・ SNS等でフォロワーを集める |
| 交通事業者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 周遊企画乗車券の設定等 |

地域一体の魅力的な観光地域づくり
 戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション



第2 長期的な視点

(1) 定住促進に向けた取組

・限られた財源で人口減少、少子高齢化社会において、住民の安心・安全を守るためには、行財政運営の効率化を進める必要がある。そこで、著しく人口が減少し、行政のサポートなしでは生活できなくなった高齢者等でも安心・安全な生活が送れるような仕組みを構築する。

その仕組みを運営するため公社・第三セクターを設立する。

公社 or 第三セクターの新規設立

高齢者が歩いて暮せるまちづくりのため、中心市街地に高齢者住宅を整備するとともに、生活拠点を整備するコンパクトシティ化を進める。

融資

金融機関

第3 その他

(1) 小鹿野町政策審議審議会の開催経過

本審議会は、平成30年1月から令和元年9月までに、11回の会議と1回の視察研修を重ね審議しました。

各会議等の開催時期及び検討内容は次のとおりです。

■ 第1回小鹿野町政策審議会（平成30年1月26日）

- 議事(1) 会長の選出について
(2) 会長職務代理者の指定について
(3) 小鹿野町政策審議会の趣旨説明
(4) 意見交換

■ 第2回小鹿野町政策審議会（平成30年3月22日）

- 議事(1) 会議録署名委員の指名について
(2) 第1回会議録について
(3) 政策審議会への諮問について
(4) 今後の進め方について
(5) 意見交換

- 第3回小鹿野町政策審議会（平成30年5月24日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第2回会議録について
 (3) 意見交換

- 第4回小鹿野町政策審議会（平成30年7月18日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第3回会議録について
 (3) 意見交換
 (4) 各委員からの提案について

- 第5回小鹿野町政策審議会（平成30年9月28日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第4回会議録について
 (3) 提案についての意見交換

- 第6回小鹿野町政策審議会（平成30年10月16日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第5回会議録について
 (3) 提案についての意見交換
 (4) 中間答申について

- 第7回小鹿野町政策審議会（平成30年11月21日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第6回会議録について
 (3) 中間（第1次）答申について

- 第8回小鹿野町政策審議会（平成31年1月22日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第7回会議録について
 (3) 第1次申に関する課題について

- 小鹿野町政策審議会視察研修（平成31年2月28日）
視察場所 群馬県利根郡川場村役場・田園プラザ

- 第9回小鹿野町政策審議会（平成31年4月3日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第8回会議録について

(3)株式会社設立に関する課題と推進方法について

■ 第 10 回小鹿野町政策審議会（令和元年 6 月 2 7 日）

議事(1)会議録署名委員の指名について

(2)第 9 回会議録について

(3)株式会社設立に関する課題と推進方法について

(4) 定住・移住・交流人口の増加施策について（諮問）

■ 第 11 回小鹿野町政策審議会（令和元年 9 月 2 4 日）

議事(1)会議録署名委員の指名について

(2)第 10 回会議録について

(3)産業振興の活性化について（最終答申）（案）

(4)定住・移住・交流人口の増加施策について（意見交換）

(2) 小鹿野町政策審議会委員名簿

(敬称略)

| 番号 | 氏名 | 役職等 | 備考 |
|----|--------|--------------------------|--------|
| 1 | 小松 征三 | 元(株)秩父富士 代表取締役社長 | 会長 |
| 2 | 今井 敏夫 | 両神林産加工(株) 代表取締役社長 | 職務代理者 |
| 3 | 宮林 茂幸 | 東京農業大学地球環境学部教授 | |
| 4 | 吉田 朗 | デザイナー（スタジオ小風） | |
| 5 | 黒澤 忠弘 | 合同会社黒澤農園代表社員 | |
| 6 | 宮本 一輝 | 宮本家代表（旅館） | |
| 7 | 山口 清文 | 小鹿野町広報大使 | |
| 8 | 飯塚 寛 | 埼玉県秩父地域振興センター所長 | ※ 1 |
| | 坂本 泰孝 | 〃 | ※ 2 |
| 9 | 須崎 真紀子 | 須崎旅館代表 | |
| 10 | 萩原 淳司 | 公益財団法人埼玉りそな産業経済振興財団主席研究員 | |
| | 山本 博則 | 埼玉りそな銀行 小鹿野支店長 | オブザーバー |
| | 塩田 浩司 | 〃 | |

【任期：平成30年 1 月26日から令和 2 年 1 月25日までの 2 年間】

※ 1：平成30年 1 月26日から平成30年 3 月31日まで

※ 2：平成30年 4 月 1日から令和 2 年 1 月25日まで